

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス・アニマートつかぐち			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 19日 ~ 2026年 1月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日 ~ 2026年 1月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 8日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童や保護者様からの相談や申し入れについて、迅速に対応することを最優先に考え、常に行動している。	相談、申し入れの連絡があったらすぐに連絡を取り、必要であれば面談で内容をヒアリングして、解決や課題解消に取り組んでいる。	相談、申し入れの内容を事業所だけにとどめず、関係機関等に共有して足並みをそろえた支援の実施。
2	各季節のイベント・制作等でご利用者に喜んで貰える取り組みを行っており、年間を通しての各月の日本ならではの行事を覚えゆかりを勉強していくける環境を作っております。	スタッフが中心となり各児の障害に合った制作、イベントでの遊びをその場に合わせ対応している。	支援スキル向上のための研修、各職員がミーティング・自己学習での知識、技術の向上を図る。
3	挨拶や作法、整理整頓など、将来的に日常生活を送る上で必須となってくる生活の基礎からマナーやモラルといった高度なことまで、楽しみながら身に付けられること。	動画やホワイトボードによる参考情報の提供や、ゲーム形式での指導と児童に合わせた個別サポートの機会を設けている。	定着を図れるための資料作成や自由参加型のクイズ・体験の定期開催。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のスペースが限られており、クールダウンに使用できる部屋はあるが、遊び場と隣り合っており、騒々しい場合があること。	活動により使用用途を分けて構造化が行われているが、クールダウンのスペースとしては児童によって適した環境が異なり、環境設定の難しさを感じている。	新たなクールダウンスペースの確保。安全面に配慮できる環境づくり。保護者様からのご意見を伺い、限られた環境での居場所作りを常に考えていきます。
2	運動面の発達支援についてさらなる充実が必要であること。	障害特性に関する支援と比較し、運動や身体面についての専門性を高めるための機会が少ないと。	遊びの中での運動機会を設け、個別に対応が必要な児童については保護者様との相談の上、医療的な情報提供をいただきながら対応を行っていく。
3	地域との交流など地域に開けた事業所運営ができていないようを感じる。第三者委員会など外部の機関を運営に取り入れることができない。	日々の支援業務に追われていて、地域との交流はどのように進めればいいか考える時間や方法が難しく、外部機関とつながれるようにする体制づくりの時間の確保が必要。が難しい。	自ら積極的に市町村や公的団体へ方法の助言を聞くなどの行動を行い、自事業所としてどのような関わり方ができるかを考えいくようにしていきたい。

保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		公表日 2026年 2月 8日						
		利用児童数			10名		回収数 9名	
環境・体制整備	1	チェック項目 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 100.0%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	ご意見を踏まえた対応 引き続き安全確保に努め、お子様にとってわかりやすく過ごしやすい環境を整えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	はい 100.0%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	今後も基準を満たした人員配置を行い支援を行っていきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	はい 88.9%	どちらともいえない 11.1%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	特性に応じ、必要な環境調整や、視覚化など、必要な配慮を実施してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	はい 100.0%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	使用前、使用後には清掃及び消毒を実施し清潔な環境を整えている。また、活動に合わせた環境設定に努めている。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	はい 88.9%	どちらともいえない 11.1%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	今後もお子様一人ひとりの課題に応じた専門性のある支援が行えるよう努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	はい 88.9%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 11.1%	ご意見	今後も公表している支援プログラムに応じた、適切な支援を行っていきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	はい 88.9%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 11.1%	ご意見	個別支援計画は半期に一度見直しを行っております。必要があれば随時相談を受け付け、支援に反映しております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	はい 100.0%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	利用開始時に作成しております支援計画書の各項目に設けております。今後も面談の際に設定内容の確認を行って参ります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	はい 100.0%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	支援内容と計画書にずれがないか定期的にヒアリングを行っております。ご不明な点があればいつでもご相談ください。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	はい 88.9%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 11.1%	ご意見	5領域を意識し、常に新しい視点で、活動プログラムのバリエーションがもてるようにしてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	はい 44.4%	どちらともいえない 33.3%	いいえ 0.0%	わからない 22.2%	ご意見	引き続き、感染症流行の状況下で懸念もあり、現在は交流会実施の予定はありません。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	はい 100.0%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	引き続き、丁寧な説明を行っていき、ご質問に関しても丁寧にお答えしてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	はい 100.0%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	放課後等デイサービス計画を保護者様と一緒に見ながら、支援内容についてご説明させていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	はい 44.4%	どちらともいえない 33.3%	いいえ 0.0%	わからない 22.2%	ご意見	今後必要に応じて開催の検討を行っていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	はい 88.9%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 11.1%	ご意見	細かく様子を伝えてくださり、良い事も悪い事もこちらが把握できる形にしていただいて安心しています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	はい 77.8%	どちらともいえない 22.2%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	安心して利用していただけるよう、今後も連絡帳や対面、必要時は電話連絡を行い、保護者の方々との情報共有に努めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされているだと思いますか。	はい 100.0%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	ご相談いただいた際には職員間で共有し、丁寧に傾聴したり上限であります。あればお伝えし、相談しやすい関係性を保つことを目指しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	はい 22.2%	どちらともいえない 22.2%	いいえ 55.6%	わからない 0.0%	ご意見	日々療育の中で保護者様へ時間を作っていただき参加いただくことをこちらから積極的に発信していくよう努めています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	はい 100.0%	どちらともいえない 0.0%	いいえ 0.0%	わからない 0.0%	ご意見	いつも、本当に早い対応をしていただいている。真摯な態度で対応している。保護者には相談の機会が設けられていることを周知している。申し入れがあれば即座に対応するよう努めている。

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%		今後も送迎時などに保護者の方への伝達を丁寧に行い、お子様との関わりの中で気持ちを汲み取りながらやり取りが行
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%		ホームページにて自己評価表を公開するとともに、活動概要等の情報もブログなどを活用しながら積極的に発信しています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		契約時に個人情報の取扱いについて説明している。同意書もいただいている。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		すべてのマニュアルが策定されている。火事や自然災害を想定した訓練も実施している。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%		引き続き定期的なマニュアルの確認及び修正を行い、周知徹底を行ってまいります。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		何よりも安全を第一に支援を行っています。乗降時安全装置の設置加え、2重、3重の確認を行っています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		現時点で事故や怪我の発生はありません。発生した場合には、速やかに連絡をし、状況等について説明を行います。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		気持ちに寄り添い、意思決定支援を意識した支援、丁寧な対応をし、居心地いいように取り組んでいます。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		特性をふんだんに個別支援を大切に、活動内容のパリエーションを持ち、興味・関心を持って楽しんでいただけるように。
	29 事業所の支援に満足していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	子供に合わせて会話をもしていただきとてもありがたいです	安心・安全な環境の中で、集団活動で得られる経験、個別支援をバランス良く組み合わせ、支援に取り組んでまいります。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス・アニマートつかぐち				公表日 2026年2月8日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%	一人に対し、一つの学習ブースが設けられ一つ一つブースになっていて区切られているため、集中してカリキュラムに取り組めている。	工夫点を意識しながら、引き続きスペースの確保に留意して療育を進める。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	0.0%	人員配置基準を守り、加算要件を満たす配置を行っている。	曜日等で児童数が増減しますので、引き続き臨機応変に対応してまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0%	0.0%	収納スペースや手洗いなど、わかりやすく配置されている。	利用児童の心身の状態に合わせ、可能な限り物理的な配慮に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	毎日清掃を行っている。通常の清掃以外にも気付いた時に整頓をしたり、細かいところの清掃をするようにしている	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	88.9%	11.1%	完全独立のスペースを確保しており、勉強はパーテーションで区切っており集中できる環境を作っています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%	日々の支援を進めて行く中で疑問や問題点を職員で話し合い、それに対する対応と結果も共有する時間を持っています。	引き続き、職員間で疑問や問題点について話し合い、より良い支援が出来るよう業務改善に努めています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	毎年アンケートを実施し保護者等の意向を把握して業務改善に努めています。	引き続き定期的に保護者等の意向を把握して業務改善に努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	職員間で意見交換を行うなどコミュニケーションを密にして、定期的に会議を開催しており、可能であればパート職員も参加している	業務改善の指標を設けてサービス向上を図れる資料を作成を進めます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0.0%	100.0%	※第三者による外部評価は実施していない。	今後必要に応じて検討していく
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%		都度必要に応じて検討していく。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	作成、公表を行っている。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	保護者に記入してもらった、フェイスシートやアセスメントシート、面談時に把握したニーズをもとに支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	計画の作成、更新が必要な際は職員間で意見を出し合って検討を行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	計画内容については、支援前に確認してプログラムを立案するよう努めている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	保護者からの聞き取りにより実施。また、日々の様子を観察する中で職員間で確認し合っている。	今後も子供の状況をしっかりと把握したうえで活動内容を考える。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	本人支援、家族支援、移行支援、地域支援、それについて具体的な支援目標を設定。	今後も、具体的な計画を作成し支援に繋げていく
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	各支援員が意見を出し合い、カリキュラムを考えている。	全職員で支援内容について意見を出し合う機会を多く設けていく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	毎月の、活動内容の会議の際に、季節のものなど新しいイベントごとを発案している。	今後も、日々の利用者の状況に応じて臨機応変に対応できる様にしています。

供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	個別だけでなく、小集団の活動も取り入れている。	今後も個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせ計画を作成していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	利用児童や送迎、活動内容などは日々打ち合わせをおこない対応している。	今後も、送迎・支援内容を都度確認し、伝達事項に漏れがないように徹底していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	日々連携・共有を図っています。	今後も何でも気付いた事を言える様に他の話題等も自由に話せる時間を設けていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	事業所内部の記録については目標に沿った記録を残し、それを月ごとのまとめができるよう用紙を整備している。	引き続き問題点があれば話し合い、支援の改善に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	モニタリングで振り返りができるよう、日々の記録はモニタリング繋がる詳細な記録を残すように心がけている。	今後も定期的に面談を実施し、見直しを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	88.9%	11.1%	ガイドラインに沿った内容で活動プログラムを組み、支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	子どものアイデアをレクなどに反映したり、レクの内容により参加しない等を認めてたりしており、本人の選択ができる内容を行って	今後は自己選択と自己決定の内容を精査していく必要がある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0.0%	100.0%	※参加しておりません。	今後必要に応じて参加を検討していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	55.6%	44.4%	必要に応じて施設から連絡を取り、情報共有している	今後も必要時には他機関と連絡を取り、連携して支援にあたっていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%	保護者を通じて学校行事等の把握をしている。送迎時の対応についても学校の先生と話せる時間を設けている。	今後必要に応じて情報共有を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0.0%	100.0%	就学前に利用していた保育所や幼稚園などと情報提供は要望があったときのみとなっておりました。	保護者の要望も聞きながら必要に応じて実施していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0.0%	100.0%	要望があれば情報提供を行っている。	今後必要に応じて情報提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	44.4%	55.6%		今後必要に応じて実施を検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	44.4%	55.6%		今後必要性を考えながらニーズがあれば取り入れていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0.0%	100.0%	特に参加はしていない。	今後、必要性を検討していく。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	送迎時にはその日の様子を伝えるようにしている。アセスメントや面談の機会を活用して情報の共有を行っている。	今後も更に共通理解を深めて行くために、送迎時やそれ以外にも時間調整をしてもらえるよう保護者と連携を深める。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0.0%	100.0%		子育てへの質問、相談はその都度お受けしております。感染症予防の観点より現状はペアレンツトレーニングは実施しておりません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	見学やアセスメント時の保護者との面談で毎回確認を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	88.9%	11.1%	面談時や通所された際に保護者の方の意向を伺っている。様子や話を踏まえて、保護者の意見のみにならないように心掛けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	都度説明を行っており定期的に計画の見直しも行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	保護者の方からのご要望があれば、相談支援等と連携し、保護者の方へお伝えしている。	今後も、相談しやすい関係づくりを大切にしていく

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0.0%	100.0%		ニーズに応じて実施を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	保護者から相談や苦情があった時は、すぐに上司へ報告と共にその日のうちに解決するようしている	今後も、苦情に対して周知徹底し、話し合い同じことが起らないようにしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	88.9%	11.1%	実施に関して連絡帳、活動実績に関してはブログにて発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	個人情報の管理についてスタッフ間で共有し、持ち出し禁止・鍵付き書庫を用いて、厳重に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	療育時に、保護者、子どもの状況に応じて声掛けするように努めています。	必要に応じて支援ツールなどを紹介し、情報伝達できるように努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0.0%	100.0%		交流を嫌がる保護者さんも多く、難しい部分もあるが地域住民の理解を深める為にも、可能なあれば検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	非常時に対応できるよう、各種マニュアルを策定しいても確認できる場所に設置しています。	情勢に応じてマニュアルを改善していくようスタッフ間で情報等共有し、隨時周知していくよう努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	職員間で確実に周知徹底できるように、お薬の説明書、またはお薬手帳の写しをもらい、変更があれば、都度提出してもらっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%	アレルギーの有無を確認している。	引き続き保護者の方と相談しながら、対応を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	安全計画を作成し、全職員への情報共有を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	定期的に行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	所定の書面に記入し、職員全体への周知を行っている。	今後も、ヒヤリハットに関して、あれば話し合いをし事故防止に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	法人内で虐待研修を行い、施設内でも情報共有を行っている。	今後も、研修を行う。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	必ず記載し、説明を行っている。	今後も、子供の安全のために制限しないといけないことがあれば、事前に保護者に説明了承を得る。